



# FP-43L シリーズ

ラベルプリンター  
リストバンドマニュアル

KA02094-Y920  
初版

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## OS の表記について

このマニュアルでは OS を以下のように略して表記しています。

Windows 10 は Microsoft Windows 10 Home operating system、Microsoft Windows 10 Pro operating system、および Microsoft Windows 10 Enterprise operating system の略です。

Windows 8.1 は Microsoft Windows 8.1 operating system、Microsoft Windows 8.1 Pro operating system、および Microsoft Windows 8.1 Enterprise operating system の略です。

Windows 8 は Microsoft Windows 8 operating system、Microsoft Windows 8 Pro operating system および Microsoft Windows 8 Enterprise operating system の略です。

Windows 7 は Microsoft Windows 7 Ultimate operating system および Microsoft Windows 7 Enterprise operating system、Microsoft Windows 7 Business operating system、Microsoft Windows 7 Home Premium operating system、Microsoft Windows 7 Starter operating system の略です。

Windows Vista は Microsoft Windows Vista Ultimate operating system および Microsoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating system の略です。

Windows Server 2012 R2 は、Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2012 は、Microsoft Windows Server 2012 operating system, Standard および Microsoft Windows Server 2012 operating system, Essentials の略です。

Windows Server 2008 は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard 日本語版、Windows Server 2008 operating system, Enterprise 日本語版、Microsoft Windows Server 2008 R2 operating system, Standard 日本語版 および Windows Server 2008 R2 operating system, Enterprise 日本語版の略です。

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 富士通アイソテック株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については 4 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

# はじめに

本書ではリストバンドへの印刷方法について説明します。プリンターの操作に関する詳細はユーザーズマニュアル等を参照してください。

## 注意

- ・ トップカバーは後方へ 90 度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- ・ 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- ・ 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- ・ トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- ・ インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

## チェック

- ・ 弊社指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- ・ リボンからリストバンドに転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの [ネガイメージ] を選択して印刷する際はご注意ください。
- ・ ご使用になるリストバンドの厚さに合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「センサーしきい値を調整する」を参照して補正設定を行ってください。
- ・ リストバンドに印刷する場合は、「リモートパネル」を使用して [自動カット位置送り機能] を [無効] に設定してください。「リモートパネル」の操作についてはソフトウェアマニュアルを参照してください。

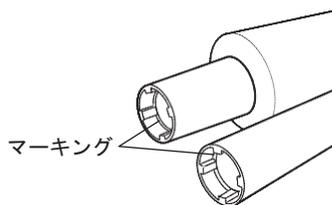
## 目次

はじめに.....	iii
<b>リストバンド(E-ブレス)の印刷方法.....</b>	<b>1</b>
リストバンドの印刷範囲.....	2
リストバンド小児用の印刷範囲.....	2
ユーザー定義用紙サイズの登録.....	3
リストバンド小児用用紙サイズの登録.....	5
リボンを取り付ける.....	6
リストバンド(用紙)をセットする.....	8
センサーしきい値を調整する.....	11
連続印刷でリストバンドに印刷する.....	13
リストバンドの印刷濃度の推奨設定.....	16
困ったときは.....	16
ご案内.....	16
<b>リストバンドLの印刷方法.....</b>	<b>17</b>
リストバンドLの印刷範囲.....	18
ユーザー定義用紙サイズの登録.....	19
リボンを取り付ける.....	21
リストバンドL(用紙)をセットする.....	23
センサーしきい値を調整する.....	25
連続印刷でリストバンドLに印刷する.....	27
リストバンドLの印刷濃度の推奨設定.....	30
困ったときは.....	30
<b>リストバンドの取り付け方法.....</b>	<b>31</b>

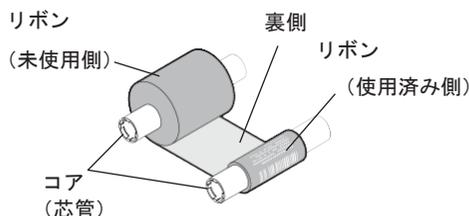
# リストバンド(E-ブレス)の印刷方法

## 重要

- ・ リストバンドをカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。
- ・ リストバンドセット用のリボンのみ使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。
- ・ リボンは種類によって色分けされています。マーキングされている場所は右図のとおりです。
- ・ 本プリンターは、富士通アイソテック株式会社(以降「弊社」といいます)純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので弊社純正消耗品のご使用をお勧めします。
- ・ リボンには裏と表(インク面)があります(右図を参照)。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換(有償)が必要になります。
- ・ 途中まで使用したリボンの未使用側/使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- ・ 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- ・ ホック(留め具)がはずれると乳児などの誤飲につながる恐れがあります。ホック(留め具)は「パチッ」と音がするまでメス側ホックを確実に押してください。
- ・ リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。



項目	説明
ワックスリボン	赤
ワックスレジンリボン	青
レジンリボン	黒
リストバンドリボン	なし (マーキングはされていません)





## ユーザー定義用紙サイズの登録

ユーザー定義の用紙サイズで印刷するには、本プリンターのプリンタードライバーがインストールされている必要があります。リストバンドの用紙サイズは、Windowsには登録されていないため、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。ただし、リストバンド専用プリンタードライバーをインストールしている場合は、ユーザー定義サイズを登録する必要はありません。

ここではWindows 10 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

- ① [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンター] フォルダーを開きます。

Windows 10 の場合、[スタート] から [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックすると開きます。

Windows 8.1/8/Server 2012 の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックすると開きます。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合、[デバイスとプリンター] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックすると開きます。

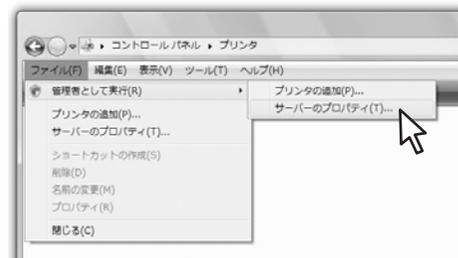
Windows Vista の場合、[プリンター] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド]、[プリンター] の順にクリックすると開きます。

Windows Server 2008 の場合、[プリンター] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンター] の順にクリックすると開きます。

- ② [プリントサーバーのプロパティ] 画面を表示させます。Windows 10/8.1/8/7/Server 2012/Server 2008 R2 の場合はプリンターを選択し、メニューバーの [プリントサーバープロパティ] をクリックすると開きます。



Windows Vista または Windows Server 2008 の場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。



### 重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどシステムの変更に關わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。
- プリントサーバーのプロパティで、[用紙設定の変更] ボタンが表示されている場合は、クリックして管理者権限を与えてください。

- ③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。

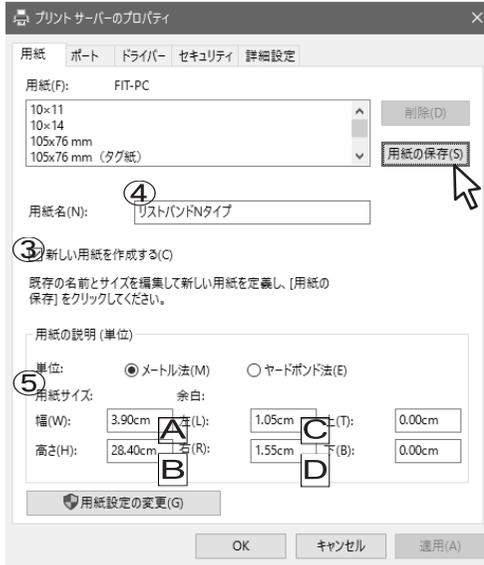
- ④ [用紙名] に用紙の名前を設定します。

ここでは、例として「リストバンドNタイプ」という名前を設定します。

### チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

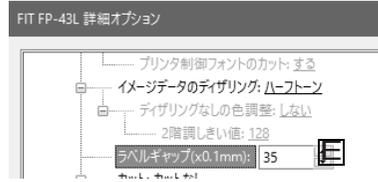
- ⑤ [単位] を指定して [用紙サイズ] と [余白] を設定します。



下図と合わせて下表の説明を参考に設定してください。

項目	説明
幅 (A)	リストバンドをはがす前の幅
高さ (B)	リストバンド印刷部の高さ
左右の余白 (CとD)	リストバンド端と印刷部までの距離
上下の余白	“0”としてください。
ラベルギャップ (E)	プリンタードライバーの [詳細オプション] ダイアログボックスの [ラベルギャップ] で設定してください。

リストバンドBタイプ/Nタイプに印刷する場合は、ラベルギャップは [35] (3.5mm) に設定します。



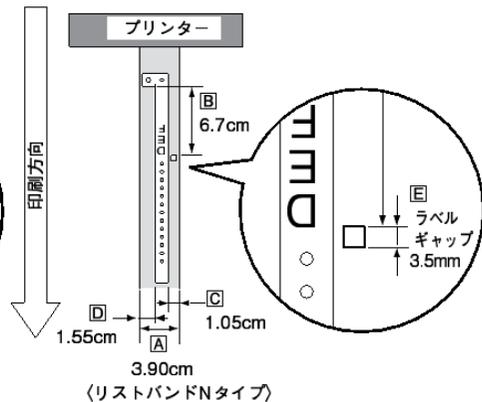
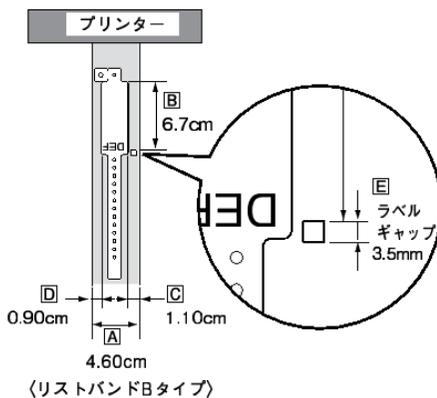
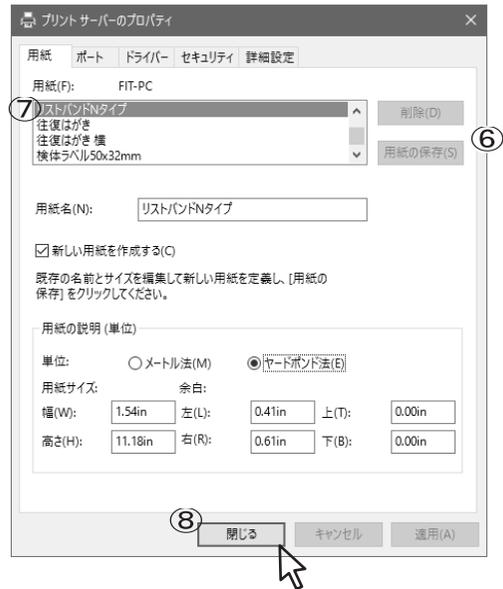
- ⑥ [用紙の保存] をクリックします。



すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。

- ⑦ [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

- ⑧ [閉じる] をクリックします。



## リストバンド小児用用紙サイズの登録

ここではリストバンド小児用用紙サイズを登録する方法について説明します。

①～③の詳細については、「ユーザー定義サイズの登録」を参照してください。

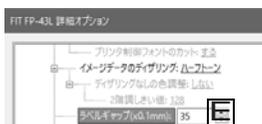
- ① [プリンター] フォルダーまたは [プリンタと FAX] フォルダーを開きます。
- ② [サーバーのプロパティ] 画面を表示させます。
- ③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。
- ④ [用紙名] に用紙の名前を指定します。  
ここでは、例として「リストバンド小児用」という名前を設定します。

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

- ⑤ [単位] を指定して [用紙サイズ] と余白を設定します



リストバンド小児用に印刷する場合は、ラベルギャップは [35] (35mm) に設定します。



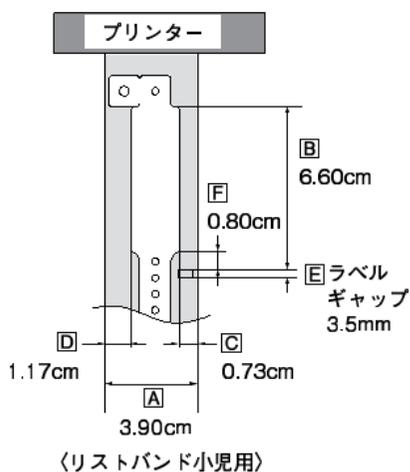
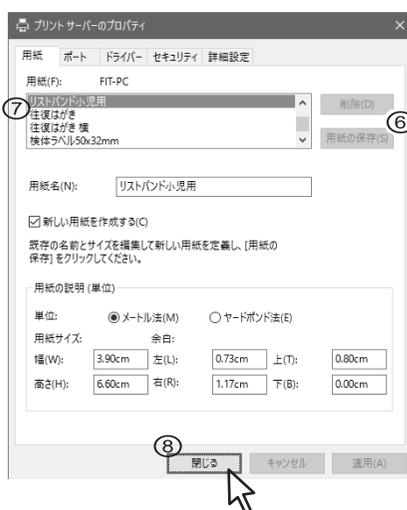
右図と合わせて下表の説明を参考に設定してください。

項目	説明
幅 (A)	リストバンドをはがす前の幅
高さ (B)	リストセンサ穴からバンド印刷部の高さ
左余白 (C)	リストバンド端と印刷部までの距離
右余白 (D)	リストバンド端と印刷部までの距離
ラベルギャップ (E)	プリンタードライバーの [詳細オプション] ダイアログボックスの [ラベルギャップ] で設定してください。
上余白 (F)	センサ用穴から印刷部までの寸法
下余白	“0” としてください。

- ⑥ [用紙の保存] をクリックします。

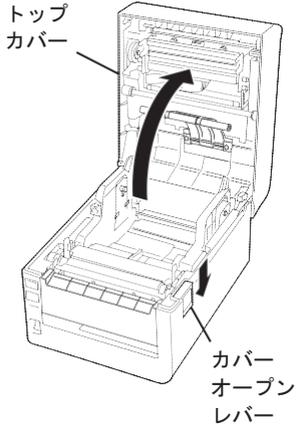
✓チェック  
すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

- ⑦ [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。
- ⑧ [閉じる] をクリックします。

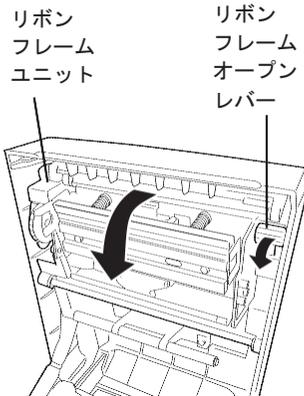


## リボンを取り付ける

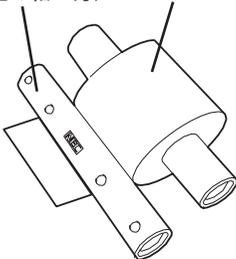
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。
- ② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



- ③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。

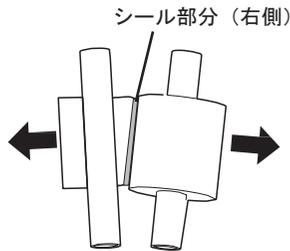


- ④ リボンを袋から取り出します。  
巻き取り側 (径の細い方) 供給側 (径の太い方)

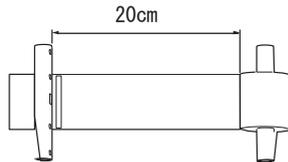


- ⑤ 両手で供給側のシール部分 (右側) を離します。

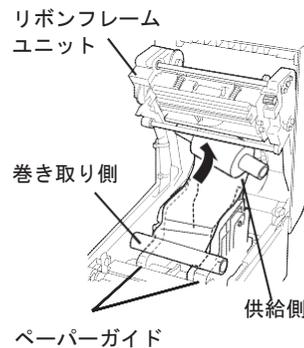
✓チェック  
巻き取り側のシール部分は離さないでください。



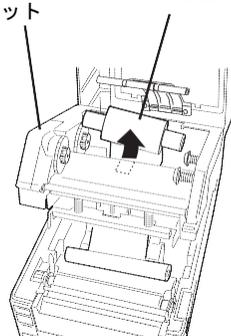
- ⑥ 透明な部分を 20cm 位広げます。



- ⑦ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側のリボンをリボンフレームユニットの下をくぐらせます。

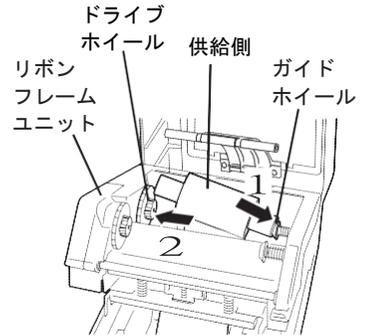


リボンフレームユニット 供給側

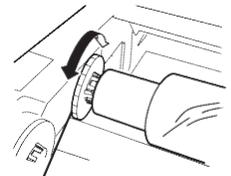


- ⑧ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。

- ⑨ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



✓チェック  
ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。

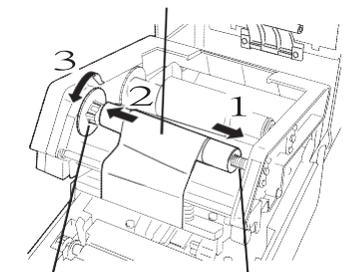


ドライブホイール

- ⑩ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。

巻き取り側

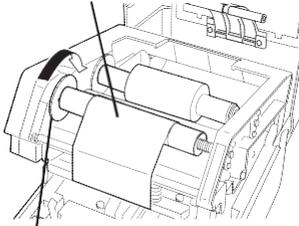


ドライブホイール

ガイドホイール

- ⑪ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。

巻き取り側



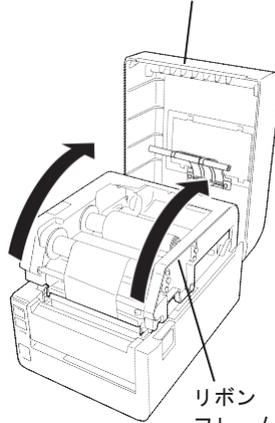
ドライブ  
ホイール



途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

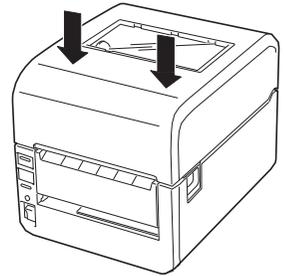
- ⑫ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。

トップカバー



リボン  
フレーム  
ユニット

- ⑬ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

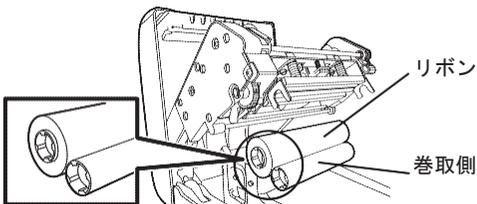
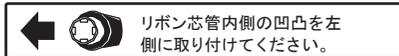


以上で完了です。



リボン取り付けには向きがあります。

リボン芯管端部の凹凸がある方がプリンターの左側（ドライブホイール側）に取り付きますので、ご注意ください。ドライブホイールのそばにリボンの向きを説明するラベルがあります。途中からご使用するリボンにおいても、リボン芯管端部凹凸側がプリンターのドライブホイール側になります。

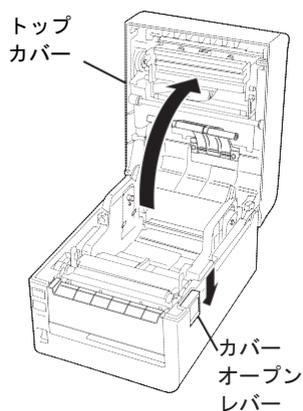


リボン芯管端部凹凸側が左側（ドライブホイール側）

# リストバンド(用紙)をセットする

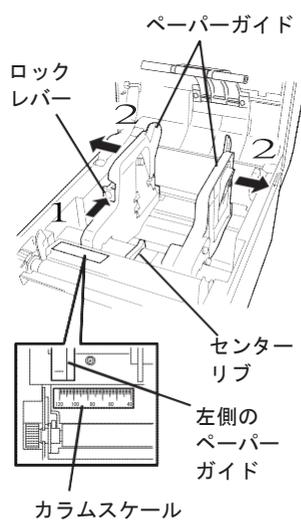
## リストバンドのセット

- ① プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

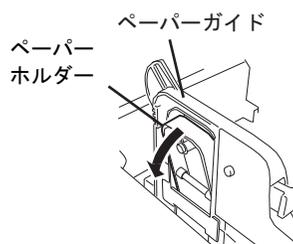


- ③ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンドの幅と同じ値のメモリに合わせます。左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。

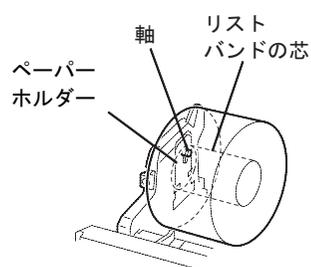
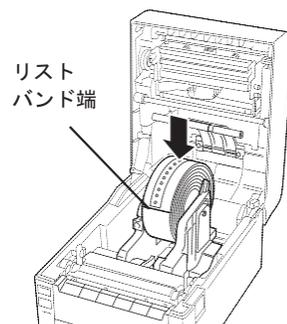


左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- ④ リストバンド端が手前側にくるようにしてリストバンドを持ちます。
- ⑤ リストバンドをそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンドの芯に入るようにセットします。

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。

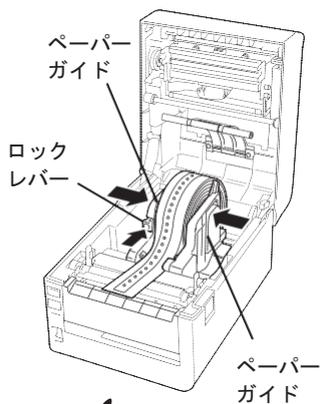




チェック

〈リストバンドのロール外径が小さい場合〉ロールの芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押してセットしてください。

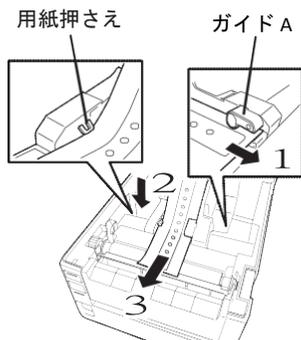
- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドがぴったりと付くように幅を合わせます。



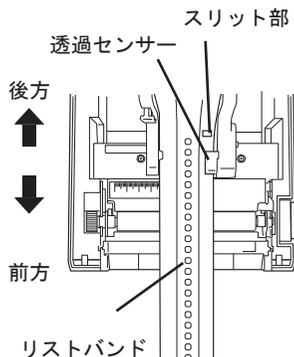
チェック

リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑦ リストバンドをガイド A の下にぐらせた後 (1)、用紙押さえの上からリストバンドを押して (2)、用紙押さえの下にリストバンドが通るようにセットします (3)。



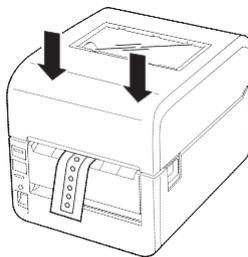
- ⑧ リストバンドのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。



チェック

- ・ スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1 枚損失します。
- ・ リストバンドが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でリストバンドのセットは完了です。

## センサーしきい値を調整する

リストバンドを印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドのスリット部でリストバンドの頭出し位置を検出します。



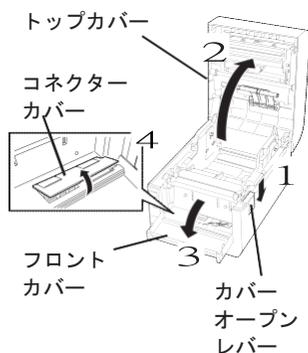
チェック

- ・ 弊社推奨のリストバンドBタイプまたはNタイプは、どちらか一方をセンサーしきい値調整すると、交互に使用することができます。
- ・ リストバンドの種類によってスリット部の位置や厚さが異なる場合があります。使用するリストバンドを変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

ここでは、使用するリストバンドに合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

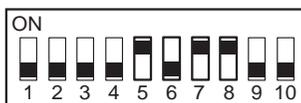
① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



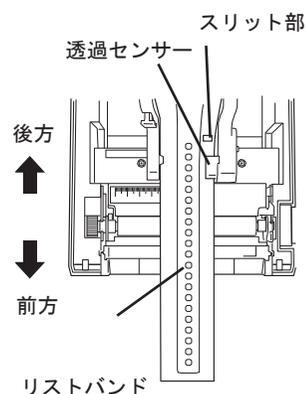
③ DIP SWの設定を変更します。

DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。DIP SW3と4をOFFにして連続印刷に設定します。DIP SW5をONにして熱転写方式にします。DIP SW6をOFF、DIP SW7をONにして透過センサーにします。



④ リストバンドをセットします。

リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。



⑤ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がるまで押して確実に閉めます。

⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。

⑦ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINE ランプが消灯した状態です。



- ⑧ ONLINE スイッチを押しながら FEED スイッチを 2 回押して調整します。

リストバンドがフィードされません。フィード中にしきい値が調整されます。



- ⑨ フィードが止まったら、ONLINE スイッチを押して ONLINE 状態にします。

ONLINE ランプが点灯した状態です。

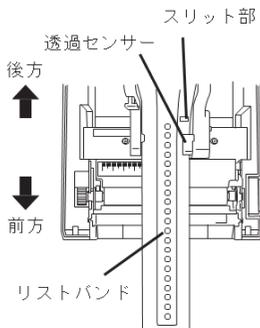


- ⑩ フィードしたリストバンドを巻き取ります。

手で巻き取る場合は、電源を ON にしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、リストバンドを巻き取ります。

リストバンドを巻き取る際、リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1 枚損失します。



- ⑪ プリンターの電源を OFF にします。

- ⑫ DIP SW の設定を印刷時の設定に戻します。

- ⑬ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。

コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、リストバンドの先頭から印刷を行うことができます。



チェック

しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、エラーランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。

## 連続印刷でリストバンドに印刷する

「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」「用紙サイズ」および「印刷濃度」などリストバンドを印刷するための必要な諸設定をすべて入力済みの専用プリンタードライバーを用意しています。詳しくはソフトウェアマニュアルを参照してください。リストバンドはカッターモジュールでカットできません。カッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。



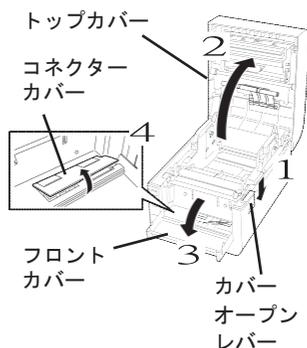
プリンターを動作させる際は必ずリストバンドをセットしてください。

## プリンタードライバーの設定を有効にする場合

「印刷モード」「印刷方式」および「センサー種別」について、プリンタードライバーの設定を有効にします。

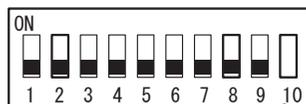
① 電源を OFF にします。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



③ DIP SW の設定を変更します。

DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF : インターフェイスボード  
ON : USB インターフェイス

④ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。

⑤ プリンターの電源スイッチを ON にします。

⑥ リストバンドをセットします。リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。

⑦ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押し込んで確実に閉めます。

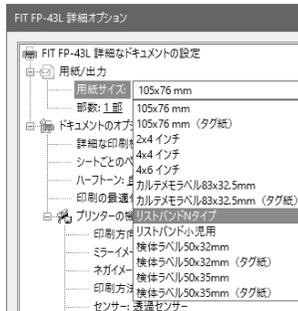
⑧ リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は不要です。

リモートパネルを起動します。  
[自動カット位置送り機能] を [無効] にして、設定内容をプリンターに送信します。

リモートパネルについては、プリンターに添付の CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルを参照してください。

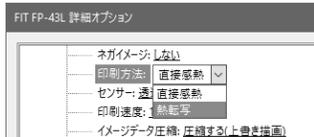


⑨ プリンタードライバーの [用紙サイズ] から使用するリストバンドに合ったユーザー定義用紙サイズを選択します。

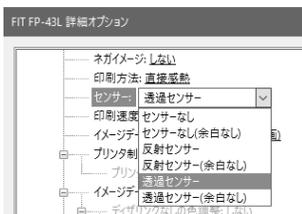


リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は、[リストバンド-Bタイプ] または [リストバンド-Nタイプ] のいずれかを選択してください。

- ⑩ プリンタードライバーの [印刷方式] を [熱転写] にします。



- ⑪ プリンタードライバーの [センサー] を [透過センサー] にします。



- ⑫ プリンタードライバーの [印刷速度] を設定します。



推奨設定値は [50.8mm/秒] です。

- ⑬ ラベルギャップの値を指定します。

ラベルギャップの説明は、4 ページの説明、表、および図を参照してください。なお、4 ページのリストバンドへ印刷する場合のラベルギャップは [35] (3.5mm) に設定します。



- ⑭ 必要に応じて印刷濃度を設定します。

推奨設定値は「7」です。設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルでの値の合計値です。

＜プリンタードライバーでの設定画面＞



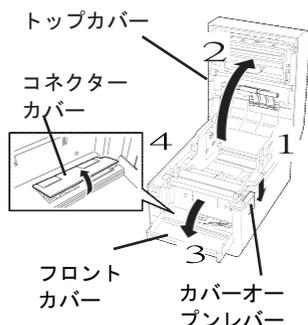
- ⑮ コンピューターから印刷を行います。

## プリンタードライバーの設定を無効にする場合

DIPSWで設定できる項目は、「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」です。その他の設定はプリンタードライバーで行ってください。

① 電源を OFF にします。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



③ DIP SW の設定を変更します。

DIP SW8 を ON にしてプリンタードライバーの設定を無効にします。DIP SW3 と 4 を OFF にして連続印刷に設定します。

DIP SW5 を ON にして熱転写方式にします。

DIP SW6 を OFF、DIP SW7 を ON にして透過センサーにします。

DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF : インターフェイスボード  
ON : USB インターフェイス

④ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。

⑤ プリンターの電源スイッチを ON にします。

⑥ リストバンドをセットします。リストバンドのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

⑦ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

用紙サイズとラベルギャップはプリンタードライバーで設定します。

⑧ チェック

リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は不要です。

リモートパネルを起動します。  
[自動カット位置送り機能] を [無効] にして、設定内容をプリンターに送信します。

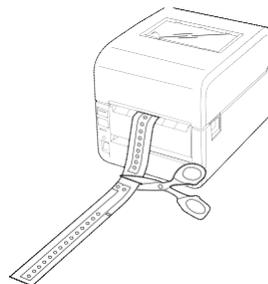
リモートパネルについては、プリンターに添付の CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルを参照してください。



⑨ コンピューターから印刷を行います。

必要に応じて印刷濃度を設定してください。

⑩ 印刷した後は、はさみで切り取ってください。



## リストバンドの印刷濃度の推奨設定

印刷濃度：「リストバンド」と「リストバンドリボン」の組み合わせでの推奨設定は「7」です。

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます（詳細はソフトウェアマニュアルを参照してください）。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネルによって変更することもできます。リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルを参照してください。

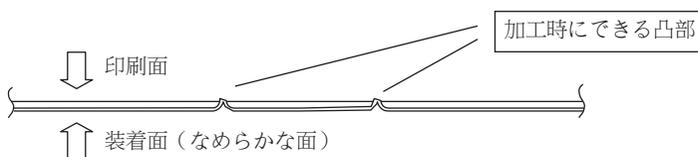
- ・ 上記推奨設定は目安であり、リストバンドの表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- ・ 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調整を行ってください。
- ・ 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

## 困ったときは

印刷がかすれる	リストバンドリボン以外のリボンを使用した場合、印刷がかすれる場合があります。正しいリボンが取り付けられているかご確認ください。
---------	---

## ご案内

本リストバンドは、加工時にできる凸部が肌にあたらず装着感をより良くしています。



リストバンド断面図

# リストバンド L の印刷方法

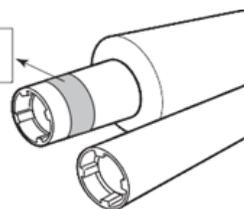
## 重要

- ・ リストバンド L をカットする場合は、リストバンドのミシン目に沿って手で切ってください。リストバンド L をカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモジュールでカットしないでください。リストバンドがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。

- ・ リストバンド L セット用のリボンのみ使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。

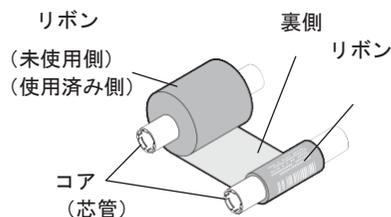
- ・ リボン L 用リボンにはラベルが貼ってあります。ラベルの貼られている場所は右図のとおりです。

リストバンド L 用リボン  
\*\*\*\*\*



- ・ 本プリンターは、富士通アイソテック株式会社（以降「弊社」といいます）純正消耗品とあわせてご使用いただくことにより、印刷品質やプリンター本来の性能を安定して発揮できるよう設計しております。純正品と異なる消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので弊社純正消耗品のご使用をお勧めします。

- ・ リボンには裏と表（インク面）があります（右図を参照）。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になります。



- ・ 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、右図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。

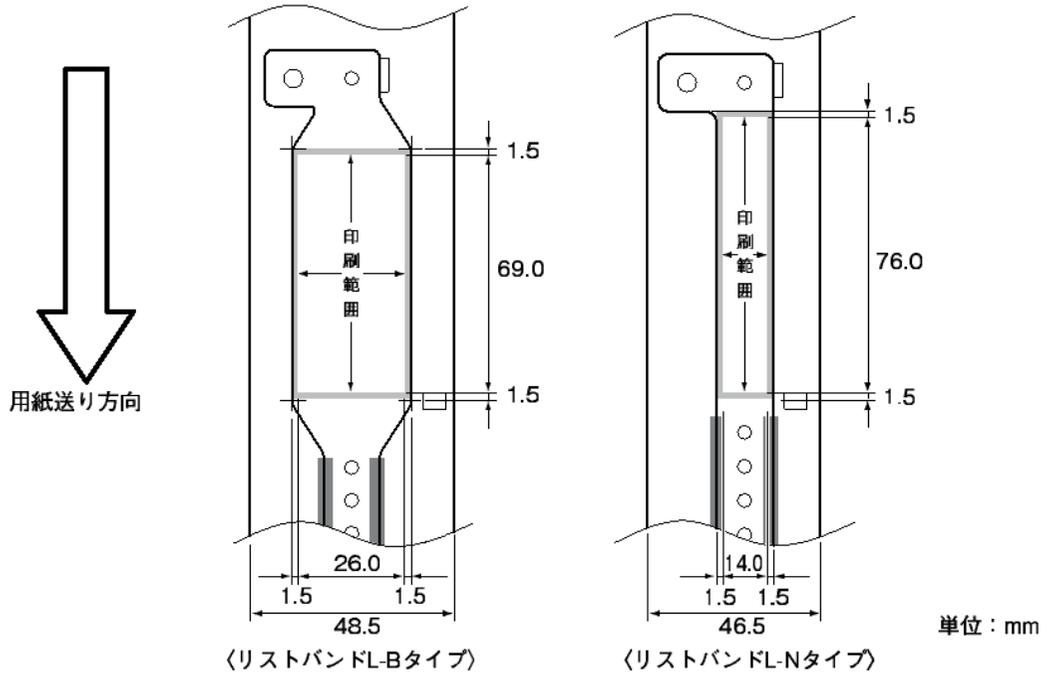
- ・ 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

- ・ ホック（留め具）がはずれると乳児などの誤飲につながる恐れがあります。ホック（留め具）は「パチッ」と音がするまでメス側ホックを確実に押してください。

- ・ リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

## リストバンドLの印刷範囲

下図において網かけ部（■）に印刷すると、印刷品位が損なわれることがあります。印刷のばらつきを考慮して、印刷範囲の内側に余裕を持って印刷してください。また事前に印刷して、印刷品位や印刷範囲の確認を行った上でご使用ください。



## ユーザー定義用紙サイズの登録

ユーザー定義の用紙サイズで印刷するには、本プリンターのプリンタードライバーがインストールされている必要があります。

リストバンド L の用紙サイズは、Windows には登録されていないため、「ユーザー定義用紙サイズ」として事前に登録します。ただし、リストバンド専用プリンタードライバーをインストールしている場合は、ユーザー定義サイズの登録は不要です。

ここでは Windows 10 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他の OS も同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

- ① [デバイスとプリンター] フォルダーまたは [プリンター] フォルダーを開きます。

Windows 10 の場合、[スタート] から [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックすると開きます。

Windows 8.1/8/Server 2012 の場合、マウスポインタを画面右下隅に移動してチャームを表示し、[設定] - [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックすると開きます。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合、[デバイスとプリンター] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックすると開きます。

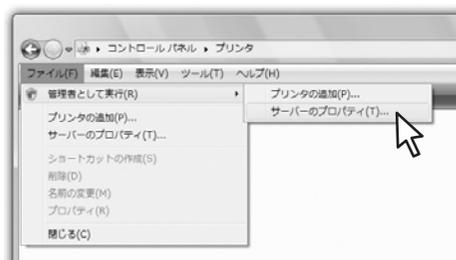
Windows Vista の場合、[プリンター] フォルダーは [スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド]、[プリンター] の順にクリックすると開きます。

Windows Server 2008 の場合、[プリンター] フォルダーは、[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンター] の順にクリックすると開きます。

- ② [プリントサーバーのプロパティ] 画面を表示させます。Windows 10/8.1/8/7/Server 2012/Server 2008 R2 の場合はプリンターを選択し、メニューバーの [プリントサーバープロパティ] をクリックすると開きます。



Windows Vista または Windows Server 2008 の場合は [ファイル] メニューから [管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] の順にクリックします。



### 重要

- Windows の利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなど Windows のシステムの変更に關わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義（追加・削除・変更）は変更できません。
- プリントサーバーのプロパティで、[用紙設定の変更] ボタンが表示されている場合は、クリックして管理者権限を与えてください。

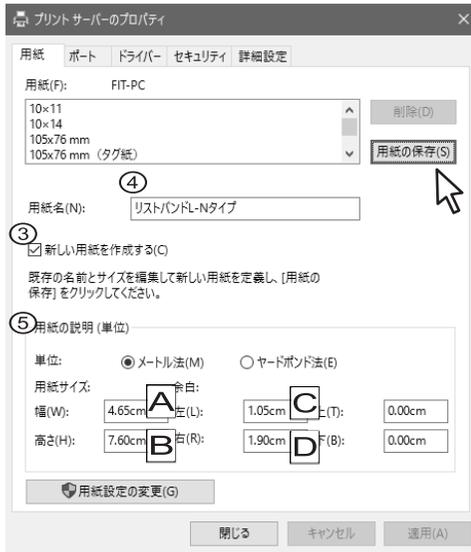
- ③ [用紙] シートで [新しい用紙を作成する] をチェックします。

- ④ [用紙名] に用紙の名前を設定します。ここでは、例として「リストバンド L-N タイプ」という名前を設定します。

### チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

- ⑤ [単位] を指定して [用紙サイズ] と [余白] を設定します。



下図と合わせて下表の説明を参考に設定してください。

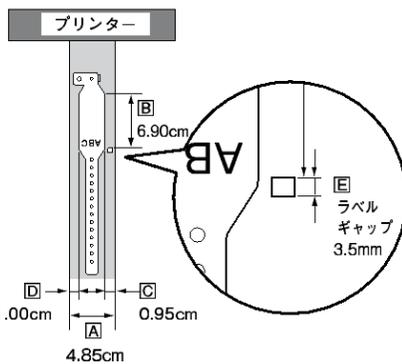
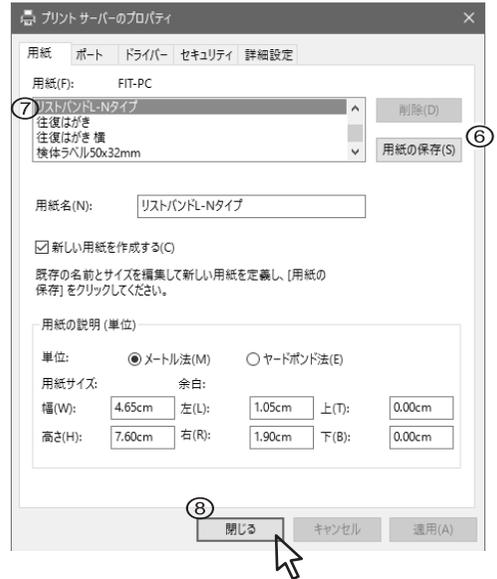
項目	説明
幅 (A)	リストバンドLをはがす前の幅
高さ (B)	リストバンドL印刷部の高さ
左右の余白 (CとD)	リストバンドL端と印刷部までの距離
上下の余白	“0”としてください。
ラベルギャップ (下図E)	プリンタードライバーの [詳細オプション] ダイアログボックスの [ラベルギャップ] で設定してください。(28 ページの手順⑬参照)

- ⑥ [用紙の保存] をクリックします。

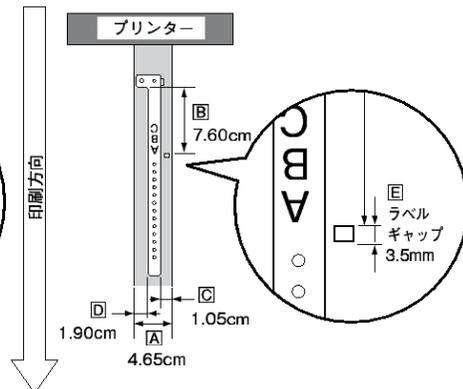
✓  
チェック  
すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。

- ⑦ [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認します。

- ⑧ [閉じる] をクリックします。



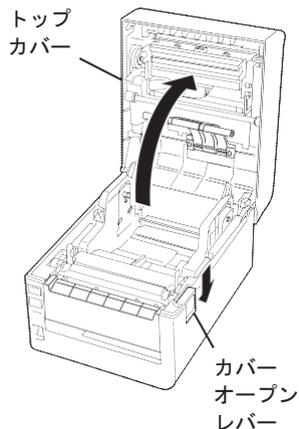
(リストバンドL-Bタイプ)



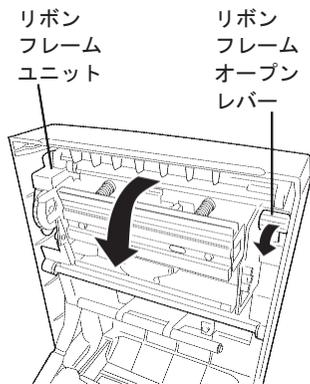
(リストバンドL-Nタイプ)

## リボンを取り付ける

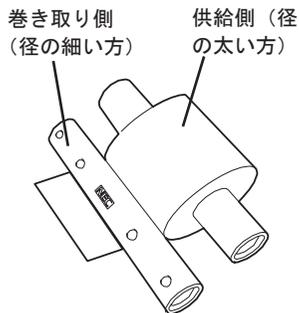
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



- ③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



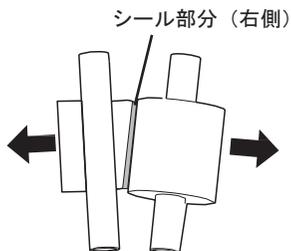
- ④ リボンを袋から取り出します。



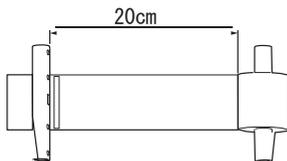
- ⑤ 両手で供給側のシール部分（右側）を離します。

✓チェック

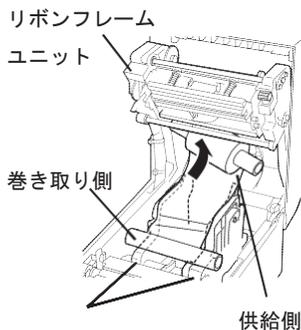
巻き取り側のシール部分は離さないでください。



- ⑥ 透明な部分を 20cm 位広げます。

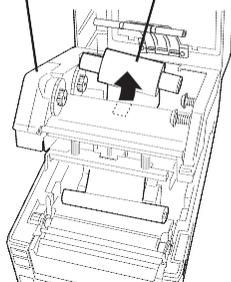


- ⑦ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側のリボンをリボンフレームユニットの下をくぐらせます。



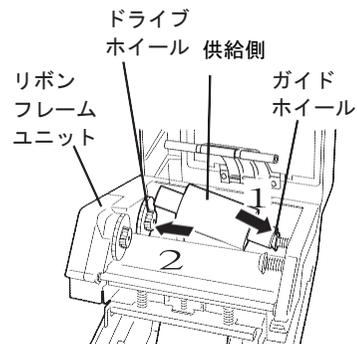
ペーパーガイド  
リボンフレーム  
ユニット

供給側



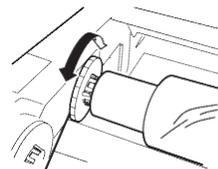
- ⑧ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。

- ⑨ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



✓チェック

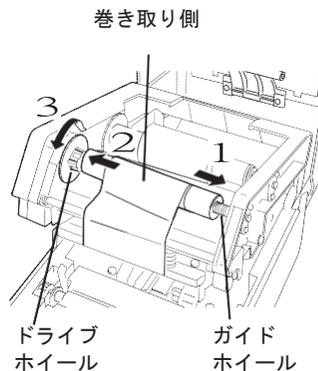
ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。



ドライブホイール

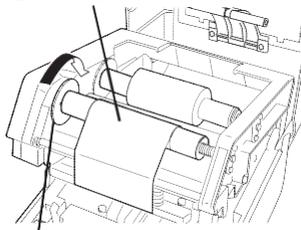
- ⑩ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいつきは前後に回しながら入れてください。



- ⑪ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。

巻き取り側



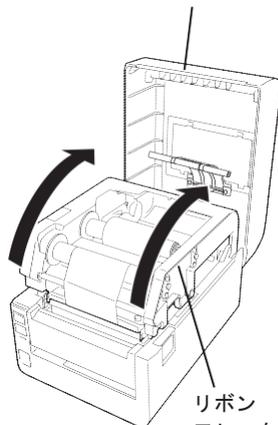
ドライブ  
ホイール



途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

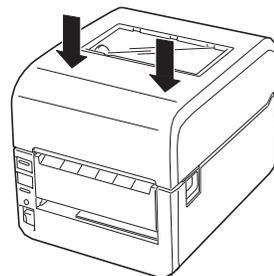
- ⑫ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。

トップカバー



リボン  
フレーム  
ユニット

- ⑬ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

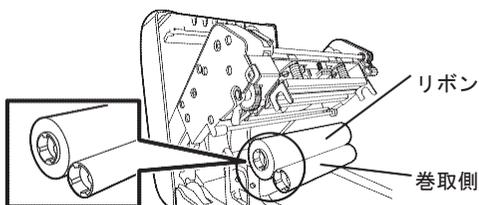
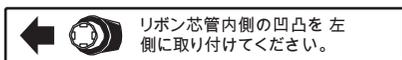


以上で完了です。



リボン取り付けには向きがあります。

リボン芯管端部の凹凸がある方がプリンターの左側（ドライブホイール側）に取り付きますので、ご注意ください。ドライブホイールのそばにリボンの向きを説明するラベルがあります。途中からご使用するリボンにおいても、リボン芯管端部凹凸側がプリンターのドライブホイール側になります。

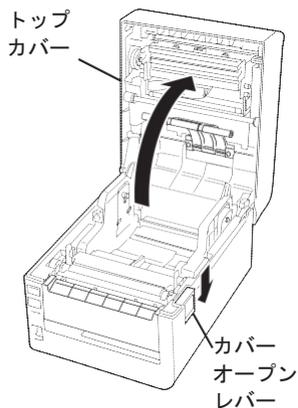


リボン芯管端部凹凸側が左側（ドライブホイール側）

# リストバンド L(用紙)をセットする

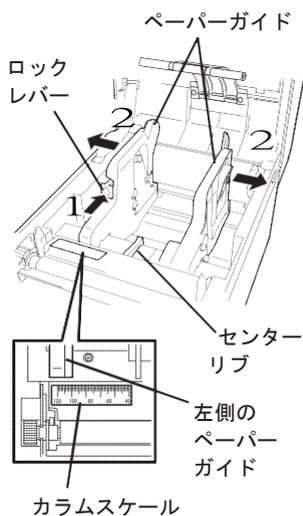
## リストバンド L のセット

- ① プリンターの電源スイッチを押して電源を ON にします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



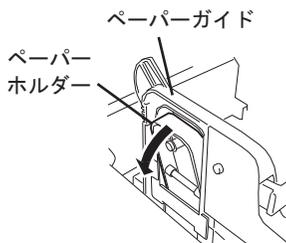
- ③ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンド L の幅と同じ値のメモリに合わせます。左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。



✓ チェック

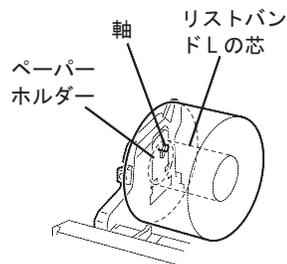
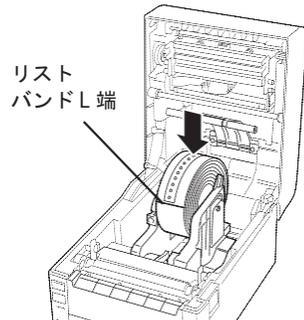
左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- ④ リストバンド L 端が手前側にくるようにしてリストバンド L を持ちます。

- ⑤ リストバンド L をそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンド L の芯に入るようにセットします。

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。

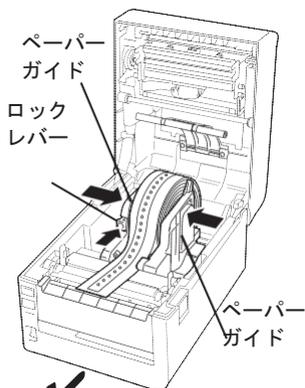




チェック

〈リストバンドLのロール外径が小さい場合〉ロールの芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押しつけてセットしてください。

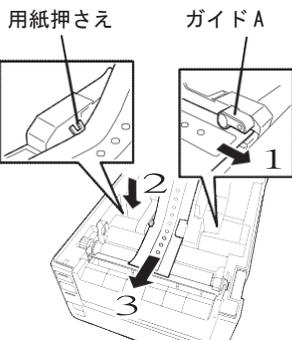
- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドLがぴったりと付くように幅を合わせます。



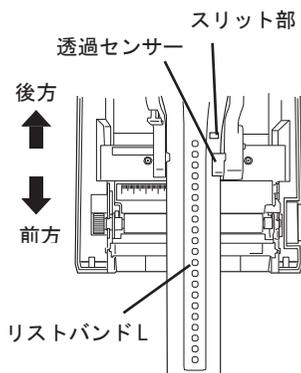
チェック

リストバンドLが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑦ リストバンドLをガイドAの下にくぐらせた後 (1)、用紙押さえの上からリストバンドを押して (2)、用紙押さえの下にリストバンドLが通るようにセットします (3)。



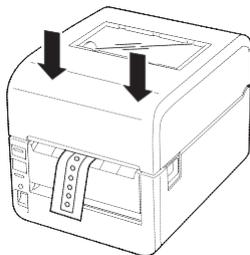
- ⑧ リストバンドLのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。



チェック

- ・ スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。
- ・ リストバンドLが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でリストバンドLのセットは完了です。

## センサーしきい値を調整する

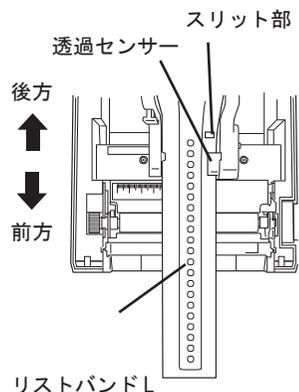
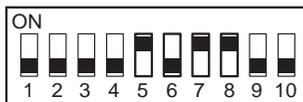
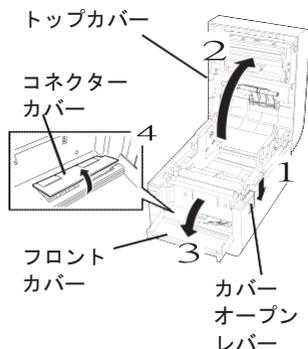
リストバンドLを印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドLのスリット部でリストバンドLの頭出し位置を検出します。

### ✓チェック

- ・弊社推奨のリストバンドL-BタイプまたはL-Nタイプは、どちらか一方をセンサーしきい値調整すると、交互に使用することができます。
- ・リストバンドの種類によってスリット部の位置や厚さが異なる場合があります。使用するリストバンドを変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

ここでは、使用するリストバンドLに合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。
- ③ DIP SWの設定を変更します。  
DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。DIP SW3と4をOFFにして連続印刷に設定します。  
DIP SW5をONにして熱転写方式にします。  
DIP SW6をOFF、DIP SW7をONにして透過センサーにします。
- ④ リストバンドLをセットします。  
リストバンドLのスリット部が透過センサーの後方に位置するよう調整してください。



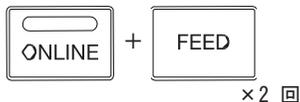
- ⑤ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑦ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINE ランプが消灯した状態です。



- ⑧ ONLINE スイッチを押しながら FEED スイッチを 2 回押して調整します。

リストバンド L がフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



- ⑨ フィードが止まったら、ONLINE スイッチを押して ONLINE 状態にします。

ONLINE ランプが点灯した状態です。

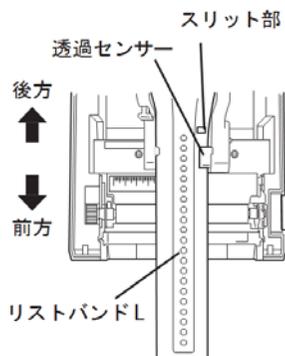


- ⑩ フィードしたリストバンド L を巻き取ります。

手で巻き取る場合は、電源を ON にしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴りません）。その後、リストバンド L を巻き取ります。

リストバンド L を巻き取る際、リストバンド L のスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1 枚損失します。



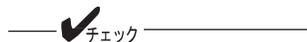
- ⑪ プリンターの電源を OFF にします。

- ⑫ DIP SW の設定を印刷時の設定に戻します。

- ⑬ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。

コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、リストバンド L の先頭から印刷を行うことができます。



しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、エラーランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。

## 連続印刷でリストバンド L に印刷する

「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」「用紙サイズ」および「印刷濃度」などリストバンドを印刷するための必要な諸設定をすべて入力済みの専用プリンタードライバーを用意しています。詳しくはソフトウェアマニュアルを参照してください。リストバンド L はカッターモジュールでカットできません。カッターモジュールでカットしないでください。リストバンド L がカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。連続印刷はプリンタードライバーの設定を使う方法と使わない方法があります。



プリンターを動作させる際は必ずリストバンド L をセットしてください。

## プリンタードライバーの設定を有効にする場合

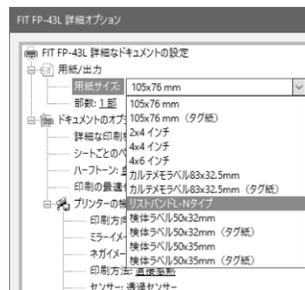
「印刷モード」「印刷方式」および「センサー種別」について、プリンタードライバーの設定を有効にします。

- ① 電源を OFF にします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。
- ③ DIP SW の設定を変更します。DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。
 

DIP SW10

OFF : インターフェイスボード  
ON : USB インターフェイス
- ④ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。
- ⑤ プリンターの電源スイッチを ON にします。
- ⑥ リストバンド L をセットします。リストバンド L のスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。
- ⑦ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。
- ⑧ リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は不要です。

- ⑨ プリンタードライバーの [用紙サイズ] から使用するリストバンド L に合ったユーザー定義用紙サイズを選択します。



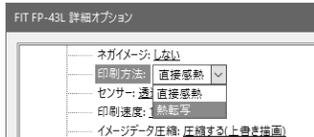
リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は、[リストバンド L-B タイプ] または [リストバンド L-N タイプ] のいずれかを選択してください。

リモートパネルを起動します。  
[自動カット位置送り機能] を [無効] にして、設定内容をプリンターに送信します。

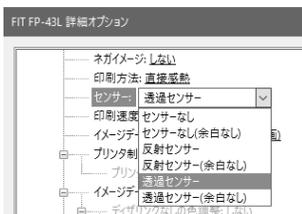
リモートパネルについては、プリンターに添付の CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルを参照してください。



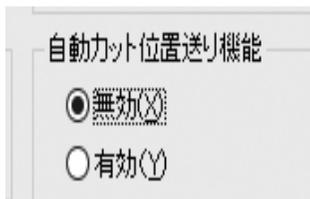
- ⑩ プリンタードライバーの [印刷方式] を [熱転写] にします。



- ⑪ プリンタードライバーの [センサー] を [透過センサー] にします。



- ⑫ プリンタードライバーの [印刷速度] を設定します。



推奨設定値は [50.8mm/秒] です。

- ⑬ ラベルギャップの値を指定します。

ラベルギャップの説明は、20ページの説明、表、および図を参照してください。なお、20ページのリストバンドへ印刷する場合のラベルギャップは [35] (3.5mm) に設定します。



- ⑭ 必要に応じて印刷濃度を設定します。

推奨設定値は「4」です。設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルでの値の合計値です。

〈プリンタードライバーでの設定画面〉



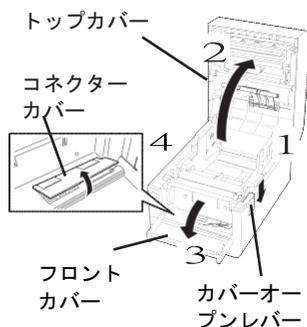
- ⑮ コンピューターから印刷を行います。

## プリンタードライバーの設定を無効にする場合

DIPSWで設定できる項目は、「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」です。その他の設定はプリンタードライバーで行ってください。

① 電源を OFF にします。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



③ DIP SW の設定を変更します。

DIP SW8 を ON にしてプリンタードライバーの設定を無効にします。DIP SW3 と 4 を OFF にして連続印刷に設定します。

DIP SW5 を ON にして熱転写方式にします。

DIP SW6 を OFF、DIP SW7 を ON にして透過センサーにします。

DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF : インターフェイスボード

ON : USB インターフェイス

④ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。

⑤ プリンターの電源スイッチを ON にします。

⑥ リストバンド L をセットします。リストバンド L のスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

⑦ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。用紙サイズとラベルギャップはプリンタードライバーで設定します。

⑧ チェック

リストバンド専用プリンタードライバーを使用している場合は不要です。

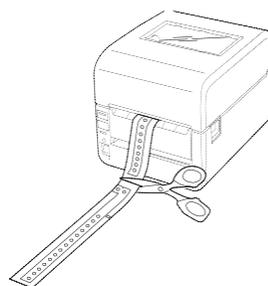
リモートパネルを起動します。  
[自動カット位置送り機能] を [無効] にして、設定内容をプリンターに送信します。

リモートパネルについては、プリンターに添付の CD-ROM に収録されているソフトウェアマニュアルを参照してください。



⑨ コンピューターから印刷を行います。  
必要に応じて印刷濃度を設定してください。

⑩ 印刷した後は、はさみで切り取ってください。



## リストバンド L の印刷濃度の推奨設定

印刷濃度：「リストバンド L」と「リストバンド L 用リボン」の組み合わせでの推奨設定は「4」です。

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます（詳細はソフトウェアマニュアルを参照してください）。また、プリンター本体の基本設定をリモートパネルによって変更することもできます。リモートパネルについてはソフトウェアマニュアルを参照してください。

- ・ 上記推奨設定は目安であり、リストバンド L の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- ・ 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を+方向に、つぶれる場合には-方向に微調整を行ってください。
- ・ 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。

## 困ったときは

印刷がかすれる	リストバンドリボン L 用以外のリボンを使用した場合、印刷がかすれる場合があります。正しいリボンが取り付けられているかご確認ください。
---------	---

# リストバンドの取り付け方法

## ⚠️ 注意

### ご使用上の注意

リストバンドを手首など直接肌に装着する場合、装着される方の体質(アレルギーや敏感肌など)により、かぶれ・湿疹などの症状が現れるおそれがあります。

また、装着したときの状態によっても同様の症状が現れるおそれがありますので、以下の点に留意の上ご使用ください。

- ・ 装着部に皮膚障害、傷などがある場合は、使用しないでください。
- ・ リストバンド全体が肌に密着しないよう指1～2本が入る程度の余裕を持たせて装着し、できるだけ通気性を確保してください。
- ・ 皮膚の状態を1～2回/日程度確認しながらご使用ください。  
もし、皮膚に異常が現れた場合は、ただちに取り外し、皮膚科の医師へご相談ください。

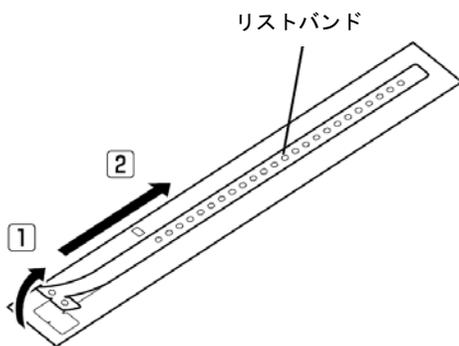
\* リストバンドの保管方法や取り扱いについては、プリンター本体のマニュアルに準じてください。

## 🔑 重要

- ・ 印刷箇所を爪や軟こうなどでこすると、薄くなることがあります。
- ・ 印刷直後は印字の定着が十分ではないことがありますので取り扱いには注意してください。
- ・ リボン専用リボンを使用してください。
- ・ いったん固定したホックを取り外すことはできません。無理にこじ開けないでください。

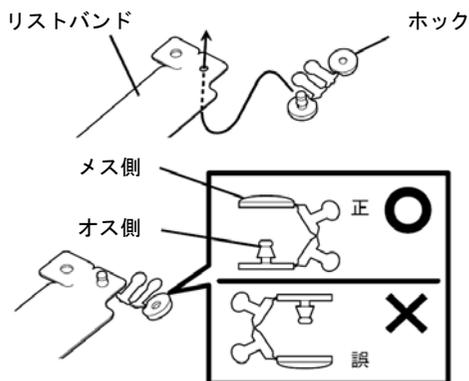
### ① リストバンドを型どおりにはがします。

はがしにくい場合は、リストバンドの端の部分をはがしてから、はがした部分を持って図の矢印方向へ引っ張ってください(リストバンドは両端のどちら側からでも切り離すことができます)。



### ② リストバンドの穴にホックを取り付けます。

ホックはオス側が下、メス側が上です。



### リストバンド用ホック仕様上のご注意

1. ホックの留め具は裏表がありますので向きに注意してください。
2. 留める際は強く押し込みすぎないようにしてください。

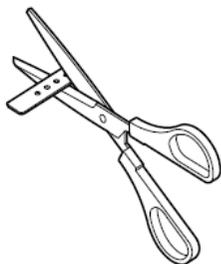


- ③ 装着するところへリストバンドをあてがいます。

オス側ホックの下に人差し指または中指をあてがい、ベルト位置を決めます。その際、バンドと皮膚との間に指1本から2本分の余裕を持たせた状態にしてください。

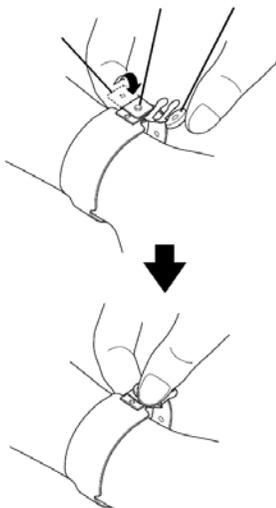


ホックを固定する穴の位置を決めた後、余分なバンドをはさみで切ります。

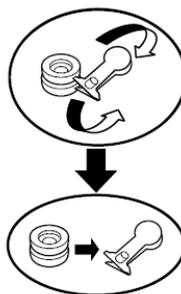
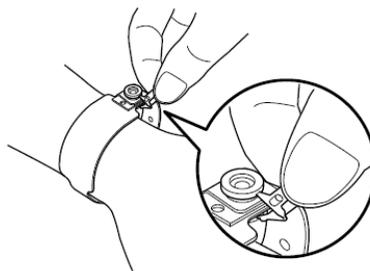


- ④ リストバンドの耳を折り返してホックのピンの上にかぶせ、さらにホックのピンにメス側をかぶせて固定します。

オス側ホックの下に人差し指または中指をあてがい、「パチッ」と音にするまでメス側ホックを押してください。



- ⑤ ホックのオス・メスをつないでいる部分を指でねじって取り外してください。



- ⑥ 装着完了時の状態が下図のとおりです。リストバンドと皮膚の間に指1本から2本までの余裕を持たせた状態で装着完了です。



リストバンドを取り外すときは、はさみで切ります。